

授業科目	公衆衛生看護管理論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保健師		ナンバリング	NU31708J		
開講年次	4	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3			
担当教員	伊藤 直子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>授業では、実務家教員と保健師の実践活動から保健師に求められる看護管理機能及び健康危機管理・リスクマネジメントについて、意見交換しながら理解を深め、学生自らが役割を創出していく力を期待します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師の実践活動を看護管理機能の側面から理解できる。(DP2-1) 2. 看護管理機能を生かし、効果的かつ効率的な実践活動を検討できる。(DP2-1、DP3-2、DP4-2) 3. 看護管理機能を果たすために、住民及び他職種と協働していく意義を理解できる。(DP3-2、DP4-2) 4. 公衆衛生看護の視点を生かし、健康危機管理・リスクマネジメントの実践活動を検討できる。 (DP2-1、DP3-2、DP4-1、DP4-2、DP4-3) 5. 保健師の実践活動を通して、住民の健康問題に真摯に向き合う姿勢を身につける。(DP4-1、DP4-3) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	50			10			60	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)				10			10	
態度(DP4-1)	10						10	
態度(DP4-2)	10						10	
態度 (DP4-3)	10						10	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
複数の実践事例について、保健師に求められる看護管理機能及び健康危機管理の発展的検討ができる。				一つの実践事例を通して、保健師に求められる看護管理機能及び健康危機管理の発展的検討ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	保健師の実践活動における管理機能について(伊藤)	講義 ワーク	復習:講義で学修した管理機能について整理しておく。	復習 60分
2	保健師の実践活動の過程と管理機能について(伊藤)	講義 ワーク	復習:講義で学習した実践活動と管理機能について整理しておく。	復習 60分
3	行政看護領域における事例管理(伊藤)	講義 ワーク	復習:実践活動における事例管理について、現状の課題を照らし合わせ検討する。	復習 60分
4	行政看護領域における事例管理(伊藤)	講義 ワーク	復習:事例管理について課題を検討したものを整理する。	復習 60分
5	行政看護領域における地区管理・事業運営管理(伊藤)	講義 ワーク	復習:実践活動における地区管理・事業運営管理について現状の課題と照らし合わせ検討する。	復習 60分
6	行政看護領域における地区管理・事業運営管理(伊藤)	講義 ワーク	復習:検討した内容を整理しておく。	復習 60分
7	行政看護領域における組織運営管理(伊藤)	講義 ワーク	復習:実践活動における組織運営管理について現状の課題と照らし合わせ検討する。	復習 60分
8	行政看護領域における予算編成・予算執行管理(伊藤)	講義 ワーク	復習:実践活動における予算編成・予算執行管理について現状の課題と照らし合わせ検討する。	復習 60分
9	行政看護領域における人材育成(伊藤)	講義 ワーク	復習:実践活動における人材育成について現状の課題と照らし合わせ検討する。	復習 60分
10	行政看護領域における情報管理(伊藤)	講義 ワーク	復習:実践活動における情報管理について現状の課題と照らし合わせ検討する。	復習 60分
11	健康危機管理及びリスクマネジメントの目的及び方法(伊藤)	講義 ワーク	復習:学習した健康危機管理及びリスクマネジメントについて、日本で起こっている事象と関連付けて整理する。	復習 60分
12	保健活動におけるリスクマネジメントの実際—感染症—(伊藤)	講義 ワーク	復習:事象について、様々な状況を想定して検討し、整理する。	復習 60分
13	保健活動におけるリスクマネジメントの実際—災害(地震)—(伊藤)	講義 ワーク	復習:事象について、様々な状況を想定して検討し、整理する。	復習 60分
14	保健活動におけるリスクマネジメントの実際—災害(水害)—(伊藤)	講義 ワーク	復習:事象について、様々な状況を想定して検討し、整理する。	復習: 60分
15	実践活動における課題を看護管理機能を生かし、どのように解決していくのか検討する。 その後、試験を実施する。(伊藤)	講義 ワーク 試験	予習:今までの授業内容について、自身の考えを整理して授業に臨む。	予習: 120分
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	『公衆衛生看護関係科目』の知識が必要です。			
テキスト	最新保健師講座1公衆衛生看護学概論 医学書院			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中、紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	公衆衛生看護学実習の目標を全て達成した上で、本講義に臨むことを期待します。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	ワーク・発表の成果物および試験で、本講義の達成度を評価します。			

